



診療科topics① 泌尿器科 PSAが高いと言われたら

「PSA値が正常範囲外」と言われたらどうしたらよいのでしょうか？

泌尿器科
小池祐介担当部長に
聞きました。



といって必ずしも前立腺がんではなく、また4ng/mL以下でもがんのこともあります。また、ご家族に前立腺がんの方がいらっしゃると、その可能性は高くなりますので正常値上限以下(3.5ng/mL以上)でも泌尿器科への受診をお勧めします。

PSAが高いと判断された場合、次にどのような検査を行うのでしょうか。

本当に前立腺がんかどうかは、前立腺の組織を一部採取する前立腺生検を施行し、病理検査(顕微鏡でがんの有無を確認する)が必要となります。最近では、前立腺生検を行う前にMRI検査を行うことによって、がんの有無・場所など、おおまかな診断をすることができます。当院でもMRIを撮影し、その結果をみて前立腺針生検を行っています。

がんと診断された場合、年齢やがんの状態を考慮し、ご本人と一緒に治療法を考えていきます。近年は、手術以外にも放射線治療、監視療法など様々な治療法があります。



経直腸式前立腺針生検の様子

PSAが高いと言われたら、お気軽に泌尿器科外来までご相談ください。

PSA(ピーエスエー)とは

近年、前立腺がんの診断が増えている理由の一つとして、健診等でPSAの測定が行われるようになったことがあげられます。PSAは前立腺特異抗原(Prostate Specific Antigen)の略称で、前立腺でのみ作られるたんぱく質の一種です。PSAは健康な方でも血液中に少量含まれていますが、前立腺がんの他、前立腺肥大症、前立腺炎などで上昇します。なお、前立腺肥大症と前立腺がんは全く異なる疾患であり、前立腺肥大症からがんに移行することはありません。

人間ドックでPSAが正常値より少し高いと言われました。どうしたらよいでしょうか

一般にPSAが4ng/mL以上の場合、前立腺がんの疑いがあるといわれていますが、PSAが高いから

看護部

手術看護

手術の執刀医に対してスピーディに器械を準備し渡す事は、手術時間の短縮につながり、患者さまへの身体の負担の軽減にもつながります。

そのために私たち手術室看護師は、技術を磨き自分自身のスキルを上げていく努力をしています。患者さまに安心して手術を受けていただけるようチームで協力して安全に努めています。



外回り看護師は、安全な手術が行えるよう手術中の多職種との調整役を担っています。



手術室看護師は夜間休日の救急外来も担当しており、緊急手術に対応できるよう努めています。



※撮影・掲載に関し、患者さまの承諾をいただいています



患者さまにとっては重大なイベントである事を常に意識し安心して手術を迎えられるよう術前看護にあたります。



術後訪問では「もっとこうして欲しかった」等、患者さまのご意見を伺い看護の評価を行っています。

これからの時期に増える花粉症について、耳鼻咽喉科小泉めぐみ医長に聞きました。

鼻水、目のかゆみなど、花粉症はどのようなメカニズムでおこるのでしょうか？

植物の花粉が体内に入ると、IgEという抗体が産生されます。抗体は血液や粘膜内にある肥満細胞にくっつき、再びアレルゲン（花粉）が入ると肥満細胞からヒスタミンやロイコトリエンなどの物質が放出されます。ヒスタミンは知覚神経を刺激してくしゃみや鼻汁を、ロイコトリエンは鼻粘膜の血管を刺激して鼻づまりを起こします。

花粉症のお薬はどのように効くのでしょうか？

抗ヒスタミン薬はヒスタミンを、抗ロイコトリエン薬はロイコトリエンをブロックして、症状を抑えます。ステロイド点鼻薬は、鼻粘膜の炎症を抑えることで効果を発揮します。

毎年花粉症の症状が出て、お薬だけではなかなかすっきりしません。症状を軽くするために、お薬以外に自分でできることはあるのでしょうか？

☑花粉情報に注意して、外出時にはマスクや眼鏡を使用しましょう。

☑帰宅時には、衣服や髪についた花粉をよく払いましょう。帰宅後に、洗顔、うがい、鼻洗浄をすることも効果的です。

☑花粉飛散期には、布団洗濯物の外干しを避けることも有効です。

最近よく聞く【舌下免疫療法】について教えてください。当院でも受けることができるでしょうか？

スギ花粉症、ダニアレルギーに有効な治療法です。症状を和らげる薬物療法とは違い、根本的な治療です。

原因となるアレルゲンを含むお薬を1日1回舌の下に置いて飲み込むことで、アレル

ギーを抑える免疫細胞が増えたり、IgEを妨げるIgGが増えたりすることで効果が出るといわれています。自宅で簡単に行うことができ、症状の軽症化や根本的な体質改善が期待できます。8割前後の方に効果があると報告されていますが、3～5年間継続することが推奨されています。

当院でもスギ花粉症に対する舌下免疫療法の導入は6月～11月、ダニに対する舌下免疫療法の導入は1年中行っています。ぜひ耳鼻科外来でご相談ください。

スギ



開花期：
1月上旬～5月中旬
(最盛期：2月上旬～4月下旬)

提供：鳥居薬品株式会社

放射線科

放射線検査における被ばくについて

○放射線検査は放射線による被ばくを伴います。

検査で得られる医療情報による利益が被ばくによるリスクより、十分に大きいと判断される場合に検査は行われます。放射線による被ばくが心配な時は、担当医師とよく相談し、納得した上で検査を受けてください。

○検査の放射線量について

検査内容・患者さんの体格に合わせた最適な線量で検査を行い、最低限の放射線被ばくとなるように努めています。



提供：鳥居薬品株式会社

患者さま相談窓口について

診療や検査を受けるうえで、診療行為などへの疑問や不安がある時などにご相談をお受けいたします。ご相談の内容により、専門の担当者にご案内いたします。

【相談内容】

- 治療の内容についてのご相談
- 入院・外来についてのお困りごと
- 医療費・経済的な心配
- 医療安全に関すること
- 職員の接遇について
- 生活上の不安
- 誰に相談すればよいかわからないご質問・ご意見

受付時間：診療日の午前9時～午後5時
受付場所：外来棟1階 総合受付
(会計・計算受付側)

予約：不要
料金：無料

※ご相談内容は、プライバシーを保護するとともに、相談された方の不利益となることがないよう取扱います。

飲食コーナー

新型コロナウイルス感染症の流行以来、当院では患者さまの院内飲食を原則禁止としておりましたが、患者さまのご要望もあり、感染対策を講じた上で飲食コーナーを設置いたしました。長い間、患者さまにはご不便をお掛けいたしました。

飲食コーナーは病棟1階にごございますので、ご利用ください。

